

学部留学生を対象とする言語文化〈日本語〉

村上京子

学部に在籍する留学生が大学で所定の単位を取得していくためには、講義を聴く、ノートをとる、ゼミで発表する、レポート・答案を書く、ディスカッションをするなど、高度な日本語運用能力が要求される。授業ではそのための訓練を行うとともに、日本人学生や教官とのコミュニケーション能力の育成や、日本社会・文化に対する理解を深めることを目的としている。

2008年度言語文化〔日本語〕の科目および受講者数は以下の通りであった。

期	対象	内容	時間	担当者	受講者数	コード
1期（1年前期）	文系	文章表現	月3限	秋山	12	0011324
		口頭表現	木3限	西田	12	0014324
	理系	文章表現	火2限	村上	2	0012242
		口頭表現	木2限	西田	2	0014241
	工学（国）	口頭表現	月2限	秋山	8	0011257
		文章表現	水2限	魚住	8	0013251
	工学（私）	文章表現	月2限	村上	11	0011258
		口頭表現	水2限	鷺見	11	0013252
2期（1年後期）	文系	文章表現	木3限	村上	12	0024332
		口頭表現	金2限	秋山	12	0025224
	理系	文章表現	火2限	村上	2	0022241
		口頭表現	木2限	西田	2	0024241
	工学（国）	口頭表現	月2限	西田	8	0021260
		文章表現	水1限	魚住	8	0023136
	工学（私）	文章表現	月2限	秋山	11	0021259
		口頭表現	水1限	鷺見	11	0023137
3期（2年前期）	文系	文章表現	火1限	浮葉	13	0032112
4期（2年後期）	文系	文章表現	木1限	浮葉	12	0044112

クラス

文系：文学部・教育学部・法学部・経済学部・情報文化学部社会システム情報学科

理系：医学部・理学部・農学部・情報文化学部自然情報学科

工学（国）：工学部（国費留学生・政府派遣留学生）

工学（私）：工学部（私費留学生・日韓理工系留学生）

授業内容

1年前期

文系・文章表現

読む力、書く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げた。テーマについての理解を深める過程で読む練習、書く練習をした。最終目標は、共通テーマに基づくレポート作成にある。共通テーマは「グローバルイゼーション」である。「市場原理主義」「グローバル・キャピタル」「グローバ

リゼーションへの懸念」の各小テーマに関する資料を読むなかで読む力の養成を、そしてレポート作成作業のなかで書く力を養成した。

文系・口頭表現

活動・テーマなど：分かりやすい発表にするための重要なポイント（グルーピング、ラベリング、オーダリングなど）について学び、練習した。まとめとして、ポイントを活かしながら日本の映画について発表し、

実際に観るといふ活動を行った。

理系・文章表現

メールで依頼する、手順を説明する（マニュアル）、事実と意見を書き分けるなど多様な文章表現を書き、学習者同士お互いに読み手の立場に立ち検討する中で、わかりやすい表現とか何か話し合った。レポートを書くための基本的技能を段階的に学習した。

理系・口頭表現

活動・テーマなど：分かりやすい発表にするための重要なポイント（グルーピング、ラベリング、オーダリングなど）について学び、練習した。まとめとして、ポイントを活かしながら日本の映画について発表し、実際に観るといふ活動を行った。

工学系（国費）・文章表現

読解能力や論理的文章を書く基礎力の養成を目的に、日本の大学生・文化・社会や科学技術を扱った新聞の読解、要約・意見・ポイントを整理して書く練習、板書文字・文体・句読点・原稿用紙やレジュメの書き方の学習、簡単な発表等を行った。

工学系（国費）・口頭表現

話す力、聞く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げた。テーマについての理解を深める過程で話す練習、聞く練習をした。最終目標は、共通テーマに基づく口頭発表にある。共通テーマは「格差と成果主義」である。「戦後日本社会の富裕層」「現代日本社会の格差」「成果主義」の各小テーマに関する資料を利用し、情報伝達、大意伝達、質疑応答などの活動を通じて話す力の養成を行った。

工学系（私費）・文章表現

メールで依頼する、手順を説明する（マニュアル）、事実と意見を書き分けるなど多様な文章表現を書き、学習者同士お互いに読み手の立場に立ち検討する中で、わかりやすい表現とか何か話し合った。レポートを書くための基本的技能を段階的に学習した。

工学系（私費）・口頭表現

インタビュー・プロジェクト（グループ）、読書マラソンと語彙拡張（ペア）、川柳の鑑賞と作成（個人）

を行った。いずれの活動も、自分の日本語使用・学習の意識化、教室外での日本語の使用を促すことに留意した。

1年後期

文系・文章表現

話す力、聞く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げた。テーマについての理解を深める過程で話す練習、聞く練習をした。最終目標は、共通テーマに基づく口頭発表にある。共通テーマは「格差と成果主義」である。「戦後日本社会の富裕層」「現代日本社会の格差」「成果主義」の各小テーマに関する資料を利用し、情報伝達、大意伝達、質疑応答などの活動を通じて話す力の養成を行った。

文系・口頭表現

ロールプレイを通して「不満を言う」「励ます」など各種場面における口頭表現を学習した。ディスカッション、ディベート、提言スピーチを通して「根拠を示して意見を言う」「反論する」など説得的な話し方を話し手、聞き手などの立場から学んだ。授業外活動に関してもポートフォリオを作成しながら意識的に口頭表現の向上を目指し努力した。

理系・文章表現

「論文の教室」（戸田山和久著）に沿って、教師作成の演習問題をしながら、レポート作成のための基本手順や留意事項、表現などを学習した。文章の要約や文献の引用をして意見を書くなど文章作成を数多く行った。

理系・口頭表現

活動・テーマなど：大学生活、日常生活で相手に好まれるような話し方について様々な場面を設定して考え、練習した。また、自らが将来研究したいことを魅力的に伝えるためにはどうしたらよいかを考えて練習し、実際にクラスメートに発表した。

工学系（国費）・口頭表現

活動・テーマなど：分かりやすい発表にするための重要なポイント（グルーピング、ラベリング、オーダリングなど）について学び、練習した。まとめとして、ポイントを活かしながら日本の映画について発表し、

実際に観るといふ活動を行った。

工学系（国費）・文章表現

さらに高度な文章表現能力の養成を目的に、図表の説明・引用の仕方やレポートの書き方を学び、各自が選んだ資料の小発表（資料丸写し防止のため図表データを元に分析）とレポートの作成発表を行った（1回目は共通テーマ・グループ、学期末は各自自由テーマ）。

工学系（私費）・文章表現

読む力、書く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げた。テーマについての理解を深める過程で読む練習、書く練習をした。最終目標は、共通テーマに基づくレポート作成にある。共通テーマは「グローバリゼーション」である。「市場原理主義」「グローバル・キャピタル」「グローバリゼーションへの懸念」の各小テーマに関する資料を読むなかで読む力の養成を、そしてレポート作成作業のなかで書く力を養成した。

工学系（私費）・口頭表現

ディスカッション、口頭発表（情報提供スピーチ）、読書報告を行った。ディスカッションは、事前準備をした意見表明、即時的判断を要する意見表明、相手の意見を踏まえた意見表明を明確に意識させ、他の活動と関連づけた。

2年前期

文系・文章表現

日本社会・日本文化に関する文献等を読み理解を深めるとともに、レポートや卒業論文に必要な論理的な文章の書き方を学んだ。小学校での英語教育導入、ニート問題の中からテーマを選び、資料を読みながら、アウトラインと序文を作成した。

2年後期

文系・文章表現

前期で学んだ内容をふまえ、より高度な読解力、文章表現力の向上を目指した。要約と引用の方法を中心に学び、興味のある本の内容を紹介するレポートを作成した。ここ数年話題となった新書を十数冊準備し、選んでもらった。

授業アンケートの結果

例年のように、授業終了時に行われたアンケート結果では、ほぼ全項目において非常に高い評価を得た。主な項目を下に示す。（4点満点）

- ・この授業はシラバス等で説明された授業目標や評価方法に沿って行われましたか（3.8）
- ・この授業に意欲的・自発的に取り組むことができましたか（3.6）
- ・この授業で設定された学習内容を理解できましたか（3.8）
- ・担当教員の熱意や工夫を感じましたか（3.8）